

2025年度 第2四半期 決算概要

2025年11月6日

沖電気工業株式会社

© Copyright 2025 Oki Electric Industry Co., Ltd.

皆さん、こんにちは。

本日はお忙しい中、沖電気工業株式会社の2025年度第2四半期の決算説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

- 2025年度 第2四半期決算
- セグメント別の概況
- 2025年度 通期予想

本日の説明内容はこちらのとおりです。

順を追って説明させていただきます。

1. 2025年度 第2四半期累計実績

- ・ 前年比で減収・減益となるも、売上高は一定水準を確保し、営業利益等の各利益は、おおむね順調に推移中

2. 2025年度 通期業績予想

- ・ EMSセグメントの見直し変更に伴い、売上高は4,400億円に100億円の下方修正
- ・ 営業利益190億円は据え置き
- ・ 当期利益は構造改革効果等により、20億円上方修正し160億円
- ・ 1株あたり配当金は50円を据え置き

まず、本日の説明のポイントです。

今年度は、現中期経営計画の策定時から見込まれていたとおり、昨年度までの新紙幣対応などの大型案件が一巡し、いわゆる“特需”的な案件のない、平常期の事業環境にあります。

第2四半期の売上高、営業利益は、対前年同期比では大型案件の剥落があって減収・減益となりましたが、営業利益以下の各利益項目は、おおむね順調に推移しています。

通期の業績予想については、EMSセグメントの足元の事業環境を踏まえて、売上高を4,400億円に100億円下方修正。

営業利益は190億円を据え置き。当期利益は構造改革の効果などを織り込んで、160億円に20億円上方修正をおこないました。

配当については、期初予想を据え置いています。

2025年度 第2四半期累計：決算の概要



- 前年同期比では新紙幣対応など大型案件の剥落があり減収となるも、売上高は一定水準を確保
- 営業利益もほぼ想定どおりに推移中

(単位：億円)	22年度 2Q累計	23年度 2Q累計	24年度 2Q累計	25年度 2Q累計	対前年	
					増減差	増減率
売上高	1,628	1,749	1,977	1,794	△183	(△9%)
営業利益	△40	※ △31	62	12	△50	(△81%)
営業利益率(%)	(△2.5%)	(△1.8%)	(3.1%)	(0.7%)	(△2.4%)	
経常利益	△49	5	45	9	△36	(△80%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	△57	3	24	6	△18	(△75%)

※一過性要因（中国ATM案件の売上債権に係る貸倒引当金戻入）を除いた実質的な営業損益

平均レート	24年度	25年度
USD	152.6円	146.0円
EUR	165.9円	168.1円

2025年度の第2四半期は、売上高1,794億円、営業利益12億円、経常利益9億円、当期純利益6億円、となりました。

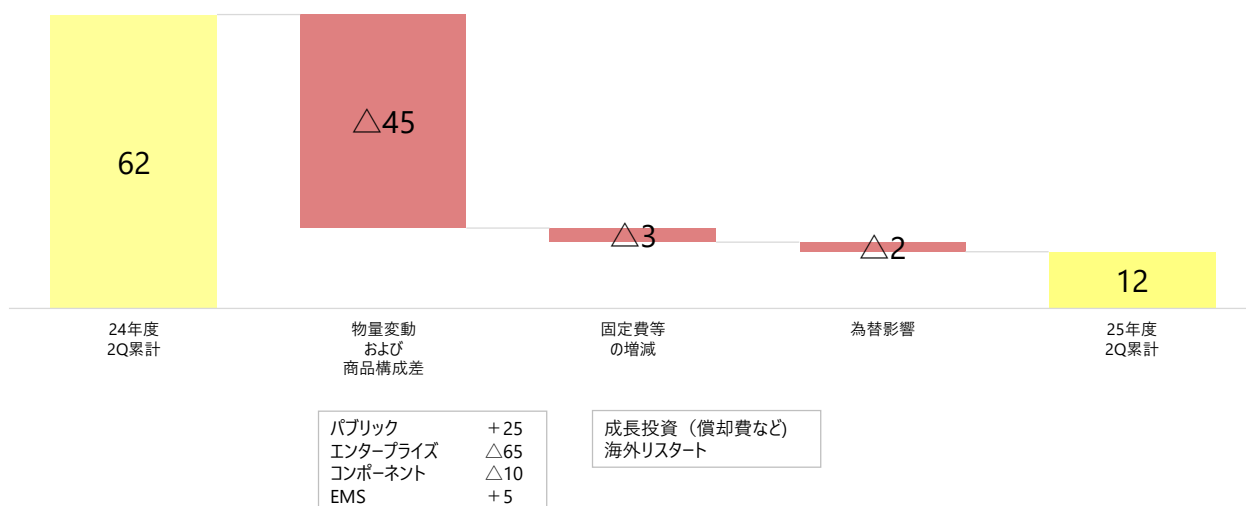
前年同期比では新紙幣対応を含む大型案件の剥落があり減収となりますが、売上高は一定水準を確保しています。

営業利益は、ほぼ想定どおりの状況です。一過性要因を除いたベースで見ると、各事業におけるコスト構造改革等の各種施策の積み上げにより収益力は確実に高まってきていると考えます。

2025年度 第2四半期累計：営業利益の変動要因

■ エンタープライズソリューションが新紙幣対応などの大型案件の剥落影響で大幅減益となる一方で、パブリックソリューションでは増収により損益が改善

(単位：億円)



© Copyright 2025 Oki Electric Industry Co., Ltd.

5/13

続いて、第2四半期の営業利益の変動要因です。

『物量変動および商品構成差』が、△45億円。新紙幣対応などの大型案件の剥落の影響で「エンタープライズソリューション」が大幅な減益となる一方で、昨年度来、注力している「パブリックソリューション」では、増収により損益が改善しています。

また、「コンポーネントプロダクト」は消耗品売上の減少などにより減益となりましたが、「EMS」では部品事業の回復により、損益が改善しています。

『固定費等』は△3億円の増加。主に成長投資や、海外R&D拠点の開設費用等で増加となりました。

『為替』は、全体として△2億円の減益影響。主として、「コンポーネントプロダクト」、「EMS」のドル建て取引における影響です。

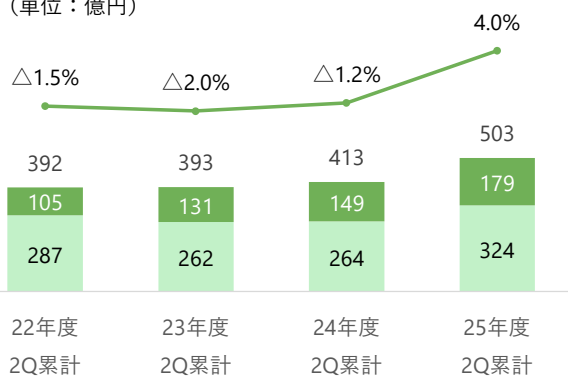
以上が、営業利益の変動要因の説明です。

- 2025年度 第2四半期決算
- セグメント別の概況
- 2025年度 通期予想

次に、セグメントごとの売上高と営業利益についてご説明します。

- 堅調な市場環境のもと、社会インフラソリューション事業・特機システム事業とも増収、営業利益も大幅に改善
- 年間目標達成に向けて、売上高確保は順調に推移

(単位：億円)



売上高：社会インフラソリューション ■ 売上高：特機システム ▲ 営業利益率

(単位：億円)	22年度	23年度	24年度	25年度	
	2Q累計	2Q累計	2Q累計	2Q累計	通期(予)
売上高：計	392	393	413	503	1,415
営業利益	△6	△8	△5	20	135

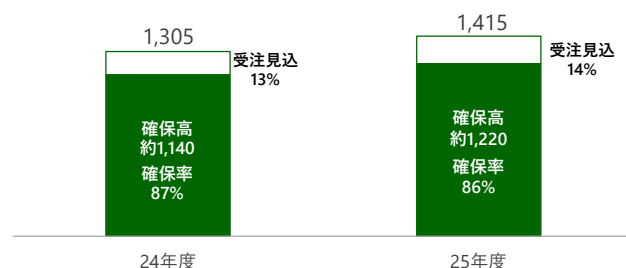
【社会インフラソリューション事業】

- 市場環境は消防・防災・道路を中心に引き続き堅調
- 通信ではキャリア向けプロダクツの自営ネットワーク市場への展開に注力中

【特機システム事業】

- 需要増に応える生産体制の強化に向け、沼津工場新棟建設に着手

(ご参考) 年間売上高確保の状況【10月末時点】〔億円〕



まずは、「パブリックソリューション」です。

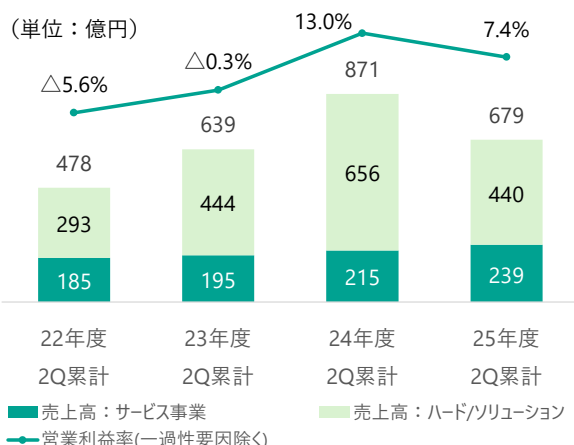
売上高は、前年同期比で90億円増加し、503億円。営業利益は20億円となり、前年比では25億円改善しています。

市場環境は、消防・防災・道路・防衛を中心に引き続き堅調であり、足元の年間売上高確保の状況は、右側のグラフに示しているとおり、現時点で86%とほぼ昨年度並みの確保率となっています。

今年度の目標、売上高1,415億円、営業利益135億円の達成に向けて、おおむね順調に進捗しています。

特機システム事業は、防衛事業の中長期的な需要増加への生産能力の強化に向けて、沼津工場の新棟建設に着手しています。

- 大型案件の剥落で減収・減益も、営業利益率は7.4%を達成
- 新たな市場機会の獲得・コストダウン等で収益の安定化を推進中



- 国内金融市場における更改案件の獲得、および保守・監視を含めたオペレーション支援領域への付加価値提供の拡大に注力中
- インド（2025年9月よりATM現地生産を開始）やアジア市場への展開を加速し、新たな成長機会を創出
- ベトナム新工場の稼働（2025年9月）を起点とした生産効率の向上により、コスト競争力をさらに強化

(単位：億円)	22年度 2Q累計	23年度 2Q累計	24年度 2Q累計	25年度	
				2Q累計	通期(予)
売上高:計	478	639	871	679	1,575
営業利益(一過性要因除く)	△27	※ △2	113	50	110

※一過性要因（中国ATM案件の売上債権に係る貸倒引当金戻入）を除いた実質的な営業損益

© Copyright 2025 Oki Electric Industry Co., Ltd.

8/13

続いて、「エンタープライズソリューション」です。

売上高は、前年同期比で192億円減少し、679億円。営業利益も、前年比で63億円減少し、50億円となりました。昨年度、第1・第2四半期に、「新紙幣対応」を含む大型案件があったことが減収減益の要因です。

こうした前年度に注力した「大型案件」は一巡し、今年度は平常期に戻っていますが、固定費削減等の施策の推進により、営業利益率は7.4%になりました。ベースの収益力は確実に向上しています。

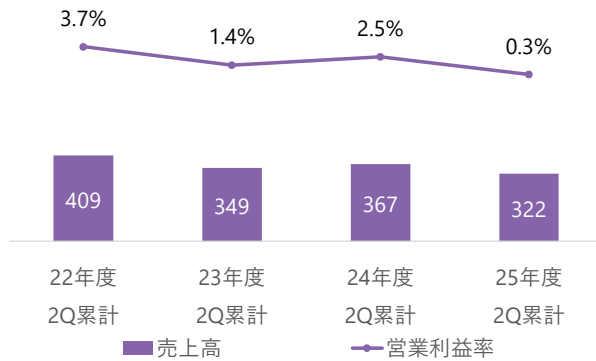
国内金融市場では更改案件の獲得や多様なニーズに応じた新規需要の創出に注力しています。

海外では、インドでこの9月よりATMの現地生産を開始するなど、アジア市場でのビジネス展開を加速し、新たな成長機会の創出に取り組んでいます。

また、ベトナム新工場が同じく9月に稼働を開始しました。これにより生産効率・コスト競争力の更なる向上を図り、収益力の強化と安定化を推進していきます。

- 情報機器事業における消耗品売上高の減少などにより減収・減益となるも、利益重視のマネジメントを推進中
- 予定どおり10月1日付けでエトリア社へ参画

(単位：億円)



- プリンタの開発・生産機能をエトリア社と統合、新体制が始動

- ✓ LEDプリントヘッド技術の活用により商品開発力を強化
- ✓ 部品の共通化やエトリア社の調達力等を活かしコストを低減
- ✓ 商品ラインナップを効率的に強化

- 海外販社の構造改革を推進中

(単位：億円)	22年度 2Q累計	23年度 2Q累計	24年度 2Q累計	25年度	
				2Q累計	通期(予)
売上高	409	349	367	322	725
営業利益	15	5	9	1	30

© Copyright 2025 Oki Electric Industry Co., Ltd.

9/13

次に、「コンポーネントプロダクツ」です。

売上高は、前年同期比で45億円減少し、322億円。営業利益も、前年比で8億円減少し、1億円となりました。

情報機器事業の海外での消耗品販売の減少などにより減収・減益となりましたが、現在、海外販社における構造改革に取り組んでおり、引き続き利益を重視したマネジメントに注力しています。

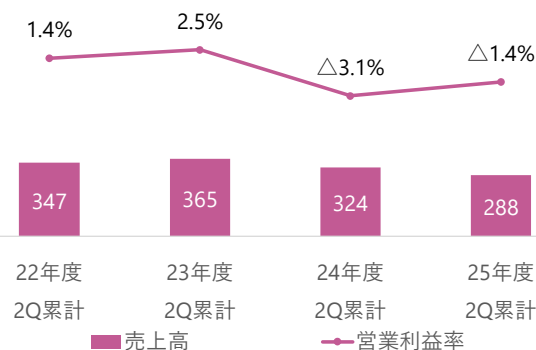
また、情報機器事業の開発・生産部門については、予定どおり10月1日付けでリコー社、東芝テック社との合併会社であるエトリア社への統合を行い、新体制をスタートさせました。

この新しい枠組みのもと、商品開発力の更なる向上やコストダウンを進めるとともに、複合機の再ラインナップなどにも取り組み、中長期的な収益の安定化を図っていきます。

■ D/EMS事業において計画からの遅れがある一方で、部品事業では新規開拓が進展、また需要も回復しつつあり、営業損益は改善中

■ 通期では、D/EMS事業の進捗を踏まえ、売上高を100億円下方修正
営業利益は、商品構成差の良化もあり期初予想を据え置き

(単位：億円)



➤ D/EMS事業

✓ 一部顧客で在庫調整や開発延伸。「まるごとEMS」サービスの提案を加速中

➤ 部品事業

✓ 半導体市場

プリント配線板は AI半導体、航空宇宙向けの新規開拓が順調

✓ FA・ロボット市場

ケーブルは 大口顧客における在庫調整が一巡、需要回復が顕著に

(単位：億円)	22年度 2Q累計	23年度 2Q累計	24年度 2Q累計	25年度		
				2Q累計	通期(予)	補足
売上高	347	365	324	288	665	期初予想比△100億円
営業利益	5	9	△10	△4	40	期初予想のまま

© Copyright 2025 Oki Electric Industry Co., Ltd.

10/13

最後に「E M S」です。

売上高は、小型モーター事業を手掛ける子会社の譲渡が完了した影響もあり、前年同期比で36億円減少し、288億円。営業損益は、6億円改善して△4億円です。

D/EMS事業では、一部顧客での在庫調整が継続しており、また開発の延伸もあって、売上高が前年を下回る状況にありますが、引き続き「まるごとEMS」サービスの提案を加速しており、一部受注済みの案件も複数できています。

一方で、部品事業においては、プリント配線板は、AI半導体向けや航空・宇宙関連の新規案件の受注が好調。また、FA・ロボット市場向けのケーブルでは需要の回復が進んでいることから、営業損益は着実に改善しています。

通期の業績予想については、D/E M S事業の足元の状況を踏まえ売上高を100億円下方修正するものの、部品事業における業績回復を受け、営業利益は期初予想の40億円を据え置きました。

今年度は、引き続き「大きな市況回復を期待せず、堅実なマネジメントに徹する」方針ですが、市場や顧客ごとの需要動向などを注視しつつ、収益力回復に向けた施策を着実に実行して、年間の利益目標の達成を目指します。

- 2025年度 第2四半期決算
- セグメント別の概況
- 2025年度 通期予想

最後に、2025年度の通期業績予想です。

2025年度 通期業績予想

- 売上高はEMSセグメントの動向を踏まえ、4,400億円に修正。営業利益は期初予想の190億円を据え置き
- 当期利益は、政策保有株式の売却および構造改革などの影響を織り込み、20億円上方修正し160億円を見込む
- 1株あたり配当金は50円を据え置き

(単位：億円)	22年度 通期(実)	23年度 通期(実)	24年度 通期(実)	25年度 通期(予)	対前年		25年5月8日 予想	対予想	
					増減差	増減率		増減差	増減率
売上高	3,691	4,219	4,525	4,400	△125	(△3%)	4,500	△100	(△2%)
営業利益	24	187	186	190	+4	(+2%)	190	±0	(±0%)
営業利益率(%)	(0.7%)	(4.4%)	(4.1%)	(4.3%)	(+0.2%)		(4.2%)	(+0.1%)	
経常利益	△3	183	168	170	+2	(+1%)	170	±0	(±0%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	△28	256	125	160	+35	(+28%)	140	+20	(+14%)
R O E (%)	△2.7%	21.4%	8.7%	9.4%	(+0.7%)		9.4%	(±0.0%)	
自己資本比率(%)	25.4%	33.3%	35.4%	37.0%	(+1.6%)		37.0%	(±0.0%)	
1株当たり配当金(円)	20	30	45	50	+5	(+11%)	50	±0	(±0%)

© Copyright 2025 Oki Electric Industry Co., Ltd.

12/13

EMSセグメントの足元の状況を踏まえ、売上高は従来予想から100億円減となる4,400億円へ見直す一方、営業利益は当初予想の190億円に据え置きます。

また、特別利益として政策保有株式の売却益や構造改革の効果等を織り込み、当期利益を20億円増加の160億円へ上方修正しました。

第3四半期以降も、各事業において収益力強化に向けた施策を着実に実行しつつ、年間業績予想の達成に向けて全社挙げて取り組んでまいります。

以上をもって、2025年度第2四半期の決算説明とさせていただきます。

■ 統合報告書「OKIレポート2025」を公開しました

- 「中期経営計画2025」の進捗、サステナビリティの取り組みを紹介しています。

<https://www.oki.com/jp/ir/finance/library/ar2025pdf/ar2025.pdf>



なお、10月31日に本年度の統合報告書「OKIレポート2025」を公開しました。

中期経営計画2025の進捗状況と、価値創造戦略および施策と実績、サステナビリティへの取り組みをわかりやすくお伝えすることを主眼に編集しました。

当社のWebサイトから是非ご覧ください。

ご清聴、ありがとうございました。

以下補足資料

(補足) 2025年度 第2四半期 B／S 流動・固定内訳

(単位：億円)	25年 3月末	25年 9月末	期首差
流動資産	2,319	2,121	△198
固定資産	1,791	1,809	+18
資産	4,110	3,930	△180
流動負債	1,670	1,612	△58
固定負債	982	863	△119
負債	2,652	2,475	△177
自己資本	1,456	1,454	△2
その他	1	1	±0
純資産	1,457	1,455	△2
負債及び純資産合計	4,110	3,930	△180
自己資本比率(%)	35.4	37.0	+1.6
DEレシオ(倍)	0.7	0.7	±0.0

(補足) 2025年度 第2四半期 キャッシュ・フローの概要



(単位：億円)	24年度 2 Q 実績	25年度 2 Q 実績	対前年 増減差
I 営業キャッシュ・フロー	154	31	△123
II 投資キャッシュ・フロー	△83	△61	+22
フリー・キャッシュフロー(I + II)	71	△30	△101
III 財務キャッシュ・フロー	△101	△46	+55

固定資産取得額	75	82	+7
減価償却費	72	76	+4

(単位：億円)	25年3月末 実績	25年9月末 実績	期首差
現金および現金同等物の残高	362	289	△73

(補足) 2025年度 第2四半期 セグメント別売上/利益



(単位：億円)		22年度 2Q累計	23年度 2Q累計	24年度 2Q累計	25年度 2Q累計	対前年	
						増減差	増減率
パブリック ソリューション	売上高	392	393	413	503	+90	(+22%)
	営業利益	△6	△8	△5	20	+25	-
	営業利益率	(△1.5%)	(△2.0%)	(△1.2%)	(4.0%)	(+5.2%)	
エンタープライズ ソリューション	売上高	478	639	871	679	△192	(△22%)
	営業利益	△27	39	113	50	△63	(△56%)
	営業利益率	(△5.6%)	(6.1%)	(13.0%)	(7.4%)	(△5.6%)	
コンポーネント プロダクト	売上高	409	349	367	322	△45	(△12%)
	営業利益	15	5	9	1	△8	(△89%)
	営業利益率	(3.7%)	(1.4%)	(2.5%)	(0.3%)	(△2.2%)	
E M S	売上高	347	365	324	288	△36	(△11%)
	営業利益	5	9	△10	△4	+6	-
	営業利益率	(1.4%)	(2.5%)	(△3.1%)	(△1.4%)	(+1.7%)	
その他	売上高	2	2	2	1	△1	(△50%)
	営業利益	2	△4	△8	△8	±0	(±0%)
消去・本社費	営業利益	△28	△29	△37	△48	△11	-
連結合計	売上高	1,628	1,749	1,977	1,794	△183	(△9%)
	営業利益	△40	10	62	12	△50	(△81%)
	営業利益率	(△2.5%)	(0.6%)	(3.1%)	(0.7%)	(△2.4%)	
	経常利益	△49	5	45	9	△36	(△80%)
	当期純利益	△57	3	24	6	△18	(△75%)

(補足)セグメント別売上高/営業利益（四半期別推移）

(単位：億円)		23年度					24年度					25年度	
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q
パブリックソリューション	売上高	193	200	245	301	940	191	222	290	602	1,305	215	288
	営業利益	△1	△7	14	39	44	△13	8	32	114	141	△3	23
エンタープライズソリューション	売上高	274	365	515	647	1,801	452	419	453	474	1,798	336	343
	営業利益	19	20	66	114	220	78	35	5	13	131	20	30
コンポーネントプロダクツ	売上高	170	179	185	200	734	179	188	191	200	758	156	166
	営業利益	△8	13	△8	9	6	△1	10	12	8	29	1	0
E M S	売上高	177	188	171	203	739	156	168	157	178	659	143	145
	営業利益	6	3	△1	3	11	△6	△4	△6	8	△8	△5	1
その他	売上高	1	1	1	1	4	1	1	1	1	4	1	0
	営業利益	△1	△3	△3	△4	△11	△4	△4	△2	△5	△15	△4	△4
消去・本社費	営業利益	△14	△15	△22	△32	△83	△16	△21	△27	△28	△92	△23	△25
連結合計	売上高	815	933	1,118	1,353	4,219	979	998	1,093	1,455	4,525	851	943
	営業利益	0	10	48	129	187	39	23	14	110	186	△14	26

(補足) 2025年度 通期業績予想 セグメント別売上/利益



(単位：億円)		22年度 通期(実)	23年度 通期(実)	24年度 通期(実)	25年度 通期(予)	対前年		25年5月8日 予想	対予想	
						増減差	増減率		増減差	増減率
パブリック ソリューション	売上高	957	940	1,305	1,415	+110	(+8%)	1,415	±0	(±0%)
	営業利益	34	44	141	135	△6	(△4%)	135	±0	(±0%)
	営業利益率	(3.6%)	(4.7%)	(10.8%)	(9.5%)	(△1.3%)		(9.5%)	(±0.0%)	
エンタープライズ ソリューション	売上高	1,129	1,801	1,798	1,575	△223	(△12%)	1,575	±0	(±0%)
	営業利益	15	220	131	110	△21	(△16%)	110	±0	(±0%)
	営業利益率	(1.3%)	(12.2%)	(7.3%)	(7.0%)	(△0.3%)		(7.0%)	(±0.0%)	
コンポーネント プロダクツ	売上高	846	734	758	725	△33	(△4%)	725	±0	(±0%)
	営業利益	16	6	29	30	+1	(+3%)	30	±0	(±0%)
	営業利益率	(1.9%)	(0.8%)	(3.9%)	(4.1%)	(+0.2%)		(4.1%)	(±0.0%)	
E M S	売上高	753	739	659	665	+6	(+1%)	765	△100	(△13%)
	営業利益	23	11	△8	40	+48	-	40	±0	(±0%)
	営業利益率	(3.1%)	(1.5%)	(△1.2%)	(6.0%)	(+7.2%)		(5.2%)	(+0.8%)	
その他	売上高	5	4	4	20	+16	(+345%)	20	±0	(±0%)
	営業利益	4	△11	△15	△15	±0	-	△15	±0	(±0%)
消去・本社費	営業利益	△68	△83	△92	△110	△18	-	△110	±0	(±0%)
連結合計	売上高	3,691	4,219	4,525	4,400	△125	(△3%)	4,500	△100	(△2%)
	営業利益	24	187	186	190	+4	(+2%)	190	±0	(±0%)
	営業利益率	(0.7%)	(4.4%)	(4.1%)	(4.3%)	(+0.2%)		(4.2%)	(+0.1%)	
	経常利益	△3	183	168	170	+2	(+1%)	170	±0	(±0%)
	当期純利益	△28	256	125	160	+35	(+28%)	140	+20	(+14%)
1株当たり配当金(円)		20	30	45	50	+5	(+11%)	50	±0	(±0%)

(補足)各セグメントの主な製品およびサービス

パブリック ソリューション	• 道路（ETC／VICS）、航空管制、防災、消防 • 中央官庁業務システム、政府統計システム • 防衛システム（水中音響／情報） • 航空機器 • インフラモニタリング • キャリアネットワーク、映像配信、5G・ローカル5G
エンタープライズ ソリューション	• ATM、現金処理機 • 営業店端末、予約発券端末、チェックイン端末 • ATM監視・運用サービス • 金融営業店システム、事務集中システム • 鉄道発券システム、空港チェックインシステム • 製造システム（ERP／IoT） • 工事・保守サービス
コンポーネント プロダクツ	• AIエッジコンピューター、センサー、IoT NW • PBX、ビジネスホン、コンタクトセンター • クラウドサービス • LEDプリンター
EMS	• 設計・生産受託サービス • プリント配線板

※本資料における業績予想および事業計画等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断される一定の前提に基づいております。したがって、実際の業績は様々な要因により、これらと異なる可能性があることをご承知おきください。

※億円単位の数値の表示方法について：

各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。
また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。